

ケニア共和国における生物科教員の 教材開発に関する考察

秋吉博之(就実大学)

A Study on the Development of Teaching Materials for Biology Teachers in Kenyan Secondary Schools

Hiroyuki AKIYOSHI (Shujitsu University)

抄 録

日本では初等・中等教育段階で理数科分野の国際教育協力が展開されている。1993年に日本によるプロジェクト方式の理数科教育協力がフィリピン共和国で開始され、その後ケニア共和国、南アフリカ共和国、ガーナ共和国などで教育協力が実施された。本稿ではケニア共和国で実施された理数科教員研修の受講者を対象にした質問紙と観察から「地域教材」の作成と授業実践について調査を行った。この調査から今後の日本の国際協力での現職理数科教員研修の指導について考察した。この2000年の調査から全国研修受講者は地域教材の作成の必要性を認めており、多くの教員が授業実践をしていると回答している。その実践内容には工作用粘土を使った実践があり、1999年の中央研修での研修内容が反映されていることが分かった。

キーワード：生物教育，教員研修，国際教育協力，ケニア共和国